

平成19年度「専修学校を活用した再チャレンジ支援推進事業」成果報告書

事業名	八幡の杜ポートフォリオの開発事業(文理ルネッサンス塾)		
法人名	学校法人 文理学院		
学校名 ( ( 2 ) のみ )	文理ランドスケープ園芸専門学校		
代表者	理事長 千葉 雅 保	担当者 連絡先	渡辺嘉昭 TEL022-215-5112
<p>1. 事業の概要</p> <p>○団塊の世代や子育て後の女性を対象に、第二の人生の価値を見いだすため、主に資格取得を目指しての講座を設置し、その受講により、人間再生を目指すための動機付けと第二のステージでの活躍の手助けとなる講座を開講した。</p> <p>■設置講座として、対象者の関心の度合いが高いと思われる「自然」と「健康」をキーワードに企画立案した。具体的には仙台では日頃開催されていない次の4講座、「日本ハーブ検定講座」、「野菜のソムリエ入門講座」、「キャンプ・インストラクター養成講座」「ネイチャーゲームリーダー養成講座」を開講した。</p> <p>■その中で、「日本ハーブ検定講座」は4回の受講と検定合格で資格取得を、「キャンプ・インストラクター養成講座」は3回(一泊二日含む)の受講と検定合格で資格取得を、「ネイチャーゲームリーダー養成講座」は5回の受講と検定合格で資格が取得できるようにカリキュラムを設定した。</p> <p>■設置講座の集客には、宮城県社会福祉協議会と連携を取り、退職後健康でかつ、「いきいき」とした余生を過ごすため生涯学習を必要とする人へのアプローチを行った。</p> <p>2. 事業の評価に関する項目</p> <p>①目的・重点事項の達成状況</p> <p>・「キャンプインストラクター養成講座」と「ネイチャーゲームリーダー養成講座」は、人気がないというより、主に男性向けのため、対象者は、まだ時間的に余裕がなく申込みが少なかった。しかし女性を対象とした「日本ハーブ検定講座」「野菜のソムリエ入門講座」は、告知後すぐに定員(20人)に達してしまい増員を行うほど盛況で狙いは良かった。</p> <p>・男性は、定年後も再就職をしている人が多く、第二のステージへの関心はあるものの時間が取れない状況のようである。</p> <p>・この層へは自然や健康をテーマにした企画は、今後更に必要性がアップしてくると思われる。</p> <p>②事業により得られた成果</p> <p>・資格取得については、「日本ハーブ検定講座」では申込者の69%が、「キャンプインストラクター養成講座」では100%、「ネイチャーゲームリーダー養成講座」では100%取得した。</p> <p>・アンケート調査で今後、機会があれば取得した資格をもとに、「積極的に利用したい」「機会があれば利用したい」という声が80%程度あったことは、目的が達成できたと判断する。</p> <p>・参加者は専修学校で、更にスキルアップや技術習得を切に欲していることをアンケート調査やヒアリングで明らかになった。(ただし安くて近場で短期間の講座)</p> <p>・申込者の殆どが「このような機会を次年度以降も引き続きつくって欲しい」と言っており、生涯学習としての必要性を感じた。</p> <p>・実施協力団体も仙台のこの地で次年度も多様な企画を立案して運営したいとのことで、これからますます広がりを持って行くと思われた。・参加者は情報交換の場として活用もされ、ネットワークを広げていくことにもなっており、講座開講は成功であった。</p>			

③今後の活用

・更にレベルアップを目指すという人には、各団体や個人との相談で継続するように誘導。また、本校の会場を利用して講座を開講するなど継続の余地を残している。

④次年度以降における課題・展開

・男性の集客を図る企画作りが課題。団塊の世代では、まだ就労している男性が多く、いかにそこを区嗅ぐって呼び込むかが問題であり、日程・時間的なことも含めて検討の必要性がある。  
 ・女性に人気のあった「日本ハーブ検定講座」「野菜のソムリエ入門講座」は、趣味の講座的でその資格をもとに社会に貢献するというのは、やや無理があると思われる。というのは、申込者が検定受験まで到達しないでリタイアする人も見受けられたため。子育て後の女性に人気のある資格(再就職に繋がる)の調査も必要かと思われる。

3. 事業の実施に関する項目

①ニーズ調査等

②カリキュラムの開発

③実証講座

講座名・人数・講師	回	日時	講座のテーマ	申込者数	参加者数	内容と状況
<b>日本ハーブ検定講座(32人)</b> (女28人:男4人、平均年齢51.6歳)  日本ハーブ振興協会「日本ハーブ検定」資格受験の要領を実践を交えて解説  窪田 利恵子氏  (日本ハーブ振興協会ハーブマスター ハーブサイエンスアカデミー学長)	1	11月3日(祝) 13時～16時	ハーブの基礎知識(ハーブ3種)	32	29	テキストに沿って日本ハーブ検定試験の概要説明。ローズ、ローズヒップ、ハイビスカスティーについて説明の後試験。全員が検定合格を目指しているためポイントを詳細に解説。
	2	12月22日(日) 13時～16時	ハーブティーの基礎知識(ハーブ4種)	32	23	最初にハーブティーの基本事項について解説。また、検定とは離れているがアロマテラピーについて解説。その後ローズマリー、レモングラス、レモンバーム、ラベンダーの解説と試験。最低限理解しておくべき箇所を丁寧に解説された。
	3	1月27日(日) 13時～16時	ハーブティーの基礎知識(ハーブ3種)と復習	32	25	検定10種の、残り3種について解説。(ジャーマンカモミール、ペパーミント、セージ)日本ハーブ検定出題のポイントを押さえた、丁寧な解説であった。その都度質問も飛び交い受講者の関心の高さを感じた。その後、前回までの復習を行い理解度の定着を図った。回を重ねる毎にキャンセル者や無断欠席者が目立ってきた。
	4	2月11日(日) 13時～16時	今までの総復習と日本ハーブ検定	32	25	前回のジャーマンカモミールとペパーミント、セージの試験とテキストの総復習(検定へ向けての総ざらい)。そして日本ハーブ検定を実施。22名受験(申込者32名-参加者25名中)検定受験者は申込者の68.8%であったが、この日本ハーブ検定講座は昨年東京と大阪で夏と秋に初めて行われ、地方都市では初めてと言うことで講演者も成果はあったと話している。また、今後ステップアップ講座の事やこのような企画を仙台で開催する計画もあることを説明された。中高年も若い人も質問や意見の交換が多数あって盛会であった。
<b>キャンプインストラクター養成(6人)</b> (男6人 平均年齢52歳)  (キャンプインストラクター資格取得知識・技術のポイント)  宮城県キャンプ協会理事・役員・ディレクター	1	10月8日(祝) 13時～16時30分	キャンプの対象、野外ゲーム、キャンプの安全	6	5	キャンプの対象(講義)の後、野外で行う3種のゲームを行い、最後にキャンプの安全で蘇生法の実践を行った。
	2	11月10日(土)10時～11日(日)12時	キャンプの指導者、テント設営・撤去法、キャンプ用具の使用法、キャンプファイアー技術・実際、野外炊飯、ロープワーク、観天望気	6	5	①ロープワーク②テントの設営・撤去・用具の使い方等(雨天のため屋内で実施)③キャンプファイアー理論④野外炊飯(雨天のため屋内で実施)⑤キャンプファイアー実践(雨天のため屋内でキャンプファイアーを実施)⑥キャンプの理論⑦キャンプの指導者(理論)等をキャンプ場(コテージ宿泊)で習得。
	3	11月25日(日) 13時～17時	キャンプの特性、キャンプの指導、まとめ、検定	6	6	キャンプの特性、キャンプの指導、まとめと総復習を行い、検定。全員合格点を取りキャンプインストラクターを申請。今後は機会があればインストラクターとして積極的に活躍する方向で終了。
<b>ネイチャーゲームリーダー養成(6人)</b> (男3人、女3人、平均年齢45.8歳)  ネイチャーゲームリーダーの養成を目的にアクティビティと講義のプログラムを消化する。	1	10月21日(日) 13時～17時	ネイチャーゲームの概要、歴史、今なぜネイチャーゲームか。アクティビティ実践。	6	6	開講の後①はじめまして②フィールドビンゴ③カメラゲームの3種のゲームを3時間外で行い、その後概要の講義を1時間行った。参加者のほとんどが関心は高く、積極的にゲーム等に臨んでいた。指導員はすばらしい環境の会場に感心していた。
	2	11月18日(日) 13時～17時	ネイチャーゲームリーダーの役割、ネイチャーゲームの理念。アクティビティ実践。	6	6	アクティビティの①こうもりとガ②ごちそうほどこ③音いくつ④サウンドマップを実践。その後アクティビティの解説とネイチャーゲームリーダーの役割、ネイチャーゲームの理念の理論を学んだ。

(社)日本ネイチャーゲーム協会	3	12月1日(土) 13時～17時	ネイチャーゲームの理念。アクティビティ実践。	6	6	アクティビティの①木の鼓動②森の美術館③カモフラージュの実践後に、今日のアクティビティの解説と前回の続きの理念について解説。最終日の試験についても補足説明あり。前回との間がありおさらいをしながら新しい実践を吸収している。ここに来て自然との調和ができてきたようである。
山口哲也氏・峯岸由美子氏	4	2008年1月19日 (土)13時～17時	アクティビティの実践(指導実習)。安全対策。	6	6	アクティビティ最終回の今回は、指導者としての立場で実践を行う指導実習を行った。アクティビティ目かくし歩きを2人組で行い、1人が指導者の立場で実践し、それを交互に行った。次にフールドボエムを行い、講義はアクティビティの復習と安全対策を行い、リスクをいかに少なくするか危険回避のための内容であった。この講座は少人数のため纏まりがあること、参加者の一部が安全対策など企業で実践していることから意識が高い。
	5	2008年2月3日(日) 13時～17時	ネイチャーゲームのまとめと検定試験	6	6	一通り今までのアクティビティの復習と概念の総ざらい(座学)そして検定試験対策の講義と検定を行った。全員合格しネイチャーゲームリーダーとCONEへの登録を行った。
<b>野菜のソムリエ入門(35人)</b> (男5人:女30人、平均年齢54.5歳)	1	10月6日(日) 9時～12時	野菜って何、果物ってなに、おいしい野菜、食べ頃果物を手に入れるには、おいしく保存しよう。産地リレー。主要野菜14品目。	26	21	野菜のソムリエの概要説明。そして知識の確認。最後にジャガイモ、サツマイモ、なすの食べ比べ。第1回と言うこともあって皆、緊張しながら受講していた。また、熱心にノートを取っていた。
日本ベジタブル&フルーツマイスター協会の資格取得入門講座	2	11月3日(祝) 9時～12時	食品の表示について	34	27	生鮮食品、加工食品、アレルギー表示、有機食品、遺伝子組み換えをテーマに解説。食べ比べは、ジャガイモ10種、柿4種。
川島洋子氏	3	12月1日(土) 9時～12時	肥料、農薬、旬の野菜	36	23	肥料と農薬の現状について説明。旬の野菜は、大根、かぶ、白菜、ねぎ、りんごについて、良い野菜の選別の仕方、食べ方、栄養等について解説。大根、りんごなどの食べ比べを行った。
(日本ベジタブル&フルーツマイスター協会野菜ソムリエ)	4	2008年2月2日(土) 9時～12時	ライフスタイルの変遷、予防と医学他	32	21	野菜を摂取することでの病気の予防と実態をプロジェクターで説明。その後旬の野菜ほうれん草とミカンの食べ比べを行った。

・実施状況については状況一覧を、アンケートについては、各講座毎のアンケート結果を参照。

#### ④その他

- ・今年度3講座は、講座聴講だけでなく、資格が取得できるようにカリキュラムを編成した。
- ・フォローアップとして積極的に検定受験への誘導を行い、かつ、今後取得した資格を基に社会への還元をとくと働きかけた。
- ・集客にあたっては、宮城県社会福祉協議会と連携を行うと同時に新聞折込を1回行い集客に努めた。また、公共の場のクリッピングサービスも利用し広く一般へ告知を図った。
- ・本校ホームページに実施状況の写真データを掲載。